

自治会連合会会報

第 7 号



年間活動報告

定例総会.....平成14年5月15日
 春のクリーンデー..... 5月26日
 正副会長会議..... 4月11日、5月10日、9月13日、12月26日
 理事会..... 4月19日、10月22日、15年1月29日
 地区別行政懇談会
 粕壁地区・内牧地区..... 7月23日
 豊野地区..... 7月24日
 武里地区・豊春地区..... 7月25日
 幸松地区..... 7月26日
 役員研修会..... 11月21日・22日

各地区体育祭の実施
 粕壁地区体育祭..... 10月13日
 幸松地区体育祭..... 10月6日
 豊春地区体育祭..... 10月6日
 豊野地区体育祭..... 10月13日
 武里地区体育祭..... 10月13日
 武里団地地区体育祭..... 10月13日
 内牧地区体育祭..... 10月13日
 研修会..... 15年2月23日
 講演会 森田 正光氏(お天気キャスター)

【協力事業】 日赤社員・社協会員の増強への協力
 赤い羽根、歳末たすけあい等募金運動への協力

ごみの5分別収集への協力

【その他】 各種審議会等への委員選出
 各種行政機関との連絡調整 等

我が街の活動紹介

● 順不同 ●

八丁目上組地区

地区長

白石 和一郎



私達の住む八丁目上組地区は東に春花咲く花木。秋は楓の紅葉と四季を感じる公園橋通り南に夏清風そよぐ古利根川。西は鎮守の森の香取神社。北に大動脈の国道四号線、その中に二百五十軒あまりの人たちが仲良く生活している街で、駅にも近く通勤通学、買い物等に便利な落ち着いた街です。

私達八丁目地区長会では「交通安全。犯罪防止運動」を地域を上げて行っています。地域のみならずが安心して暮せる街づくりが願いです。

春日部駅より公園橋に来ますと橋のふもとより6m位車道歩道間の低木を抜き、かわいい花が咲いているのにお気付きでしょうか。これは土手交差点改良工事で県にお願いし植木をぬいてもらい、見通しも良くなり土手道路より公園

橋通りに進入するのに大変楽になり交通事故防止になると喜ばれています。公園橋より上組地区内に入ると「チカン、ひつたくり、あきす」の看板が目に入ります。この看板を建てるにあたっては市教育



設置された看板

委員会、春日部警察署、PTA、民生委員、八丁目各地区役員、八丁目地区長会より多数お集まり願ひ八丁目山中集会所で地区防犯大会を開催し、みなさんに目的を理解してもらい地域より少しでも犯罪をなくすよう全員で可決し、大会を終了する。看板作りを各地区役員さんで行い、二十枚作り八丁目各地区に分け、目立つ所に建ててもらい、留守にする時の声掛け運動、戸締まり運動と深夜の一人歩きはしない事、自分の事は自分

で守る運動です。つねづね遅い帰りにはタクシーを使って自衛して下さるようお願いしている所です。当上組でも公園橋たもと、四号国道交差点、保育園前、上組公園、私自宅地に四本建て通行人に呼びかけております。

おかげ様にてだいぶ犯罪が少なくなりりましたが、昨年暮れ深夜十二時ごろ「ひつたくり」被害が起きてしまいました。夜の一人歩きはせず、タクシーを使ってくれれば無事帰宅できたのに残念でなりません。ちよっとした注意があなたを守ります。気をつけて生活して下さい。

次に公園橋通り花係り(上組中央住宅)長年雄さんを紹介致します。長さんは定年退職後、自発的に名前も知らせず、黙々と公園橋から幸松川まで約1km一人で熊さや茅を一本一本ぬき四季折々美しい草花を植えてくれ、草取りもし、道行く人達を喜ばせてくれます。その上カン、ビン、ゴミを日々拾い道路をきれいに行っている働きが認められ日本善行会より感謝状をいただきました。五年間も地区内をきれいにしてくれありがとうございます。上組地区では役員十一名で毎月一回役員会を催し、市及び諸団体からの要請事、地区内の出来事、意見等を話し合いで決め、行動しております。組長さんは十九名で大きな行事時には働

いていただいております。地区内には十ヶ所の掲示板があり、啓蒙活動をしております。地区の行事は敬老会(花のプレゼント)、子供会活動、子供夏祭り(神社祭りに合せ)、防犯活動随時、市民夏祭り、クリーンデーは各種団体毎月一回以上行う。幸松地区体育祭及び文化祭参加、古利根川清掃、防災訓練等参加、組長引き継ぎ会、市よりの社協、日赤、赤い羽根、歳末募金、緑のトラスト募金等の協力をしていきます。これからも安全で安心して暮せる街づくりを目指し、地域住民共々融和創造の精神で努力しますので何とぞ皆様の御指導、御協力をお願い致します。

本田上地区

地区長

時田 美野吉



私達の地区は、国道四号線より藤塚橋を渡り橋の袂より、県道春日部松伏線までの藤塚橋商店会通りの両側に位置し、古利根川寄り幅広く県道側が狭い扇形の区域となっております。当地区には、四百二十六年の歴史を持つ藤塚香取神社が在り、四季を通じて多くの

参拝者が訪れ、特に正月三が日は初詣の人々で賑わいをみせております。

当地区は、昭和五十三年に地区の一部が区画整理事業により本田町と地区名が変更され、それから急激に人口が増加し、現在では会員六百三十余世帯となりました。地区では新しい会員と旧会員のコミュニケーションを図るために、いろいろな事業に取り組んでまいりました。まず、班の編成替えを



子ども神輿

行い、会員が増えるたびに班を増やしてきましたが、これでは班が飛び飛びになり円滑な地区運営が出来なくなってきたため、ブロック制を取り入れて六ブロックに区割りし、各ブロックごとに班を設けました。併せて地区役員の組織の改編をし、地区長一名、副地区長二名、理事五名とし、毎月十四日に定例会を行い、班長さんへの連絡事項や行事の相談などコミュ

ニケーションを深めております。

次に、地区の行事について紹介
します。一、総会及び新年会につ
いて、会計年度は、四月一日〜翌
年三月三十一日ですが、便法上、
十二月三十一日で締め、一月最後
の日曜日に総会及び新年会を行っ
ています。新年会には、初会から
福袋を作りましたが、当初、会費
が少なかつたため中身については
商店会の皆様に相談し、倉庫に眠
っている品々を寄付して頂き、二
年間は無料で福袋が出来ました。
お陰様で年々盛大になり毎回参加
する会員もおります。二、廃品回
収について、第三日曜日に実施し、
月四〜七トンの量が集まります。
これは青年会員のエネルギーシユ
な力と行動力、そして地区民の協
力の結果です。この収益により、
各種行事を行っております。三、
納涼祭について、青年会を立ち上
げ、地域のコミュニケーションを
図ることを目的に青年会主体でス
タートし、暗中模索でありました
が、今では盛大になり、本年度は
二十周年を迎えるにあたって準備
を進めております。

特に子供神輿については、当初
樽神輿でしたが、子供達にふるさ
とを創ろうと言うことから廃品回
収を行い、その収益金で子供神輿
を購入することにしました。毎月
の収益金が予想外に多く、当初予
定したアルミ製神輿(五十万円)

から本物の神輿(百七十万円)に
切り替えて購入し、今では、地区
の宝物として子供達に喜んで頂い
ております。四、敬老会について
地区内の七十五歳以上の方々を迎
えて近隣や地区内の達人にお願
いし余興や食事をしております。五
歩こつ会について、健康づくりの
一環として、毎年十二月に、ゆつ
たり五キロコースと、健脚向き十
キロコースに分かれて実施してお
ります。その他に、地区体育祭へ
の参加、防災訓練の実施、ふれあ
いチームによる年二回のお茶飲み
会、お食事会の実施、春のクリ
ンデーの参加、公園掃除など数多
くの行事を行っております。これ
も、地区の皆様方のご理解とご協
力があればこそだと思えます。今
後は、ゆとりと潤いの持てる住ん
で良かったと言える地区となりま
すよつ頑張ります。

から本物の神輿(百七十万円)に
切り替えて購入し、今では、地区
の宝物として子供達に喜んで頂い
ております。四、敬老会について
地区内の七十五歳以上の方々を迎
えて近隣や地区内の達人にお願
いし余興や食事をしております。五
歩こつ会について、健康づくりの
一環として、毎年十二月に、ゆつ
たり五キロコースと、健脚向き十
キロコースに分かれて実施してお
ります。その他に、地区体育祭へ
の参加、防災訓練の実施、ふれあ
いチームによる年二回のお茶飲み
会、お食事会の実施、春のクリ
ンデーの参加、公園掃除など数多
くの行事を行っております。これ
も、地区の皆様方のご理解とご協
力があればこそだと思えます。今
後は、ゆとりと潤いの持てる住ん
で良かったと言える地区となりま
すよつ頑張ります。

幸町町内会

会長

金子 欽 吾



当町会は、イトーヨーカ堂春日
部の北西方角で隣接し県道さいた
ま・春日部線(岩槻新道)の両側

に位置しております。

町内区域は粕壁と中央一丁目の
一部になります。そして世帯数が
粕壁地区でも極端に少ない町会の
一つであることが特色です。従っ
て対象人数が少ないので、婦人会
子供会等の部分組織にもなします
夏祭り、盆踊り大会等の年中行事
もありません。また、市から再三
自主防災組織設立の要請を受ける
のですが、未だ未組織の状態です。
町内の活動組織としては、町内



ハイキング

を三班に分け各班には一年交代で
輪番制の理事がおります。この三
人の理事の企画で年一〜二回のハ
イキングを楽しんでおり、このこ
とが町内の親睦を深めるのに役立
っております。また、グリーン推
進員が中心となり、各班から一名
ずつ参加して年六回の町内清掃を
行っております。毎年度末の総会
は食事を共にしながら、にぎやか
にやっております。

私たちの街 内牧3区

地区長

関 根 治



春日部市内の北側に位置する内
牧地区は明治22年内牧村と梅田村
が合併して、今の範囲になりました。
昭和19年には粕壁町と内牧村
が合併して春日部町となりました。
昭和29年には1町4村が合併し
て今の春日部市になったのです。
その内牧には(内牧1〜4区)と
栄町(1〜3丁目)があります。

内牧の中心地に内牧小学校があ
り、その学校を取り巻くような格
好で3区の地域が成り立っていま
す。
内牧3区は市街化調整区域のた
め世帯数は増えませんが、2地区13
班、世帯数106件、農家比率
80%の小さな自治会です。
小さい故に各家庭の家族構成、
子供の名前等ある程度は分かり、
隣の家の子供も自分の家の子供み
たいです。
自治会の年間活動は新年会・総
会・地区体育祭への参加・親睦旅
行会・集会所の周りの清掃・クリ

ーン作戦で、他にサークル活動と
してカラオケ会・ソフトボール愛
好会・グランドゴルフ部・みゆき
会(老人クラブ)・子供会等も活
発に活動しています。

地区体育祭においては全世帯参
加が基本で、地区対抗種目に出場
する選手選びは役員さんの特に大
変な仕事です。世帯数が少ないた
め各年齢層の選手がいらないので
選手を選ぶのにもなかなか決まり
ません。20歳代の選手のところ
に30歳代の人が出たり30歳代の選
手のところに40歳代の人が出たりと
皆さんが助け合い、知恵をしぼっ
て決めています。一つひとつの競
技に皆さんが一丸となり参加し、
選手に出られなかった家庭はおに
ぎりや料理当番として裏方で参加
しています。

体育祭終了後の反省会は集会場
に入りきれない程の人々が親睦の
場として大いに盛り上がりま
す。また、農家組合の氏子を中心と



百万遍

した千地蔵・不動様・百万遍・御諏訪様・天神様等もあり、これらは現在も行われております。

その中から百万遍を紹介します。百万遍(厄病除け)

毎年4月15日昼頃にカーンカーン・カーンカーンと鐘の音が鳴り響きます。地区内の人に百万遍の始まりを知らせる鐘の音です。地区の人々はあられの入った重箱をもって集会場に集まります。百万遍は大昔から「厄病除け」として行われてきた行事で、阿弥陀様の前に笹の付いた竹を2本立て、口ウソクの火を灯し、あられ・お神酒等を供えて行われる行事です。

当番の人が「坊さんの役」となり輪の中に入って鐘を叩き、他の人は大きな数珠(直径約3m)をもつてナイダ・ナイダと唱えながら数珠を手送りで回します。盛り上がっていると数珠を坊さんに引っかけ倒したりします。手回しは108回まわすのが本来だと聞いておりますが、いまでは大分簡素化されております。念仏終了後には参加者の親睦の場になります。現在では女性やお年寄りが主体で行われていますが、昔は若者が主体で行われていたという事です。この百万遍が終わると田んぼの仕事になつていくのです。
(また、昔は大きな荒縄で作った数珠で1軒1軒回り、その後その縄を川に放つたそうです)

心の通い合う自治会づくり
大沼ゆりの木自治会

会長
松宮正幸



私どもの自治会は、春日部駅西口「藤通り」の両側に続いている藤棚を、ちょうど通り抜けたあたりに位置する閑寂な住宅街です。平成6年の上谷原地区の下部町会として誕生し、平成十二年正式に独立した新しい自治会で、大沼一・二・三丁目の住人約700世帯29組の構成です。
都内や他市への勤労者が多い新興住宅街ですので、コミュニケーションづくりが第一と考えています。そのために、役員、組長だけ



ふれあいコンサート

でなく地域の学校長、PTAの会長、子ども会や老人会、各種スポーツ団体の代表の方々と交えた新年会や、日帰り見学研修、日頃自治会行事に参加の薄い男性の交流を目的としたゴルフのコンペなどを開催しております。特に日帰り研修は年々参加者が増え、今年度は大型バス3台を運ね、車中で福祉関係ビデオ研修を行ない、自治会の楽しみな行事の一つになっています。また、年8回程度行っている公園の除草清掃の内の1回を「大沼中学校ふれあい除草」とし、公園清掃後に中学校に行き、先生やPTAの方々と生徒さんと一緒に

なつて除草作業を行っています。始めは「なぜ学校の除草までするのか」との声も聞かれましたが、地域と学校、また、地域住民と生徒さん方との直接のふれあいの場として定着してきています。

春日部市の遊学フェスティバル事業の協賛で「ふれあいコンサート」も行っていきます。大沼中学校を会場として、同校の吹奏楽部の出演と併せてプロの方をお呼びし好評を頂いております。第四回目となりました昨年10月のコンサートは、地元出身のオペラ歌手とゴスペルの歌手の方をお招きして、当自治会以外の方々の参加も含め約五百名の参加を頂きました。
お陰様でどの行事にも参加者が増えてきており、大変嬉しく思っ

ております。昨年11月には埼玉県彩の国コミュニティ協議会平成14年度「ふるさとづくり賞」において優秀賞を受賞いたしました。尚、今年度は2月より近くの小学校の樹木剪定ボランティアを当自治会より始める事になりました。これからは日頃のふれあいを大切に、生涯学習を視野に入れた「心の通い合う自治会づくり」を目指したいと考えております。

西不動院野地区

地区長
関根友伊



私達の地区は、市の北東に位置し、南に国道十六号と小淵、西に県道惣新田・春日部線、東に倉松川、東不動院野、北は杉戸町に隣接した田園地帯で、九十%が調整区域です。地区の中心に香取神社、下谷神社があり、氏子は東西不動院野全体で八十五戸ほどで、各地区一名ずつ総代が出て運営されております。神社は明治四十四年政府の合祀政策に従い十香取社を合せたもの、天神社を下谷神社と改称し発足したのが当社です。ちなみに、下谷とは不動院野の別名で

年配の人の中には、当地を下谷と呼ぶ人が多い。下谷神社は人生の節目節目に宮参りを行っている。本殿には天満天神像学問の神を祀り、一月二十五日の春の祭典は五穀豊穰と家内安全を祈願奉納し、十一月十五日の秋の祭典は収穫を感謝する祭りとなっております。地区内は緑の多い環境の良い静かな地域で、農家が五組、住宅が七組で一六二戸と会社二十一社です。子供会、松寿会、ソフトボール会があり、各会ごとにスポーツ、ランドゴルフ、親子食事会、缶・ゴミ拾い、その他親睦を図り楽しんでおります。地区の行事に春秋のクリーンデー、道路排水路草刈り掃除の実施、幸松地区体育祭・文化祭への参加、防災訓練、集会所歳末大掃除などを実施しております。市に協力をしながら、地区が、より住み良い環境になるよう、尚一層の御協力をお願い申し上げます。



地区内清掃

『春日部市民憲章』
の実行を目指して

浜川戸町内会

会長

梅田 国造



私達の浜川戸町内会は春日部駅より西方に位置し、東武伊勢崎線、東武野田線、古隅田川、国道十六号線、八幡公園、春日部高等学校等に囲まれた地域であります。

地名としましては粕壁、浜川戸一丁目と浜川戸二丁目の一部を除いた所であり、宮本町内会、八木崎町内会、内出町内会と隣接しております。

昭和四十年代に区画整理が始まる迄は旧粕壁地区を除いては、人家も疎らで八幡神社近辺の鬱蒼と繁った木々の外には一面が緑に覆われた畑地でした。今日では区画整理がなされ、武里内牧道路も整備され、交通量も増加し住宅も急速に増え、静かな街のたたずまいの中に、人の流れが変わって参りました。

この町内に永らく住まれた諸先輩等のご尽力により町内にはいろいろの伝統が継承されて参りま

した。

何と言つても夏祭りはその代表例かと思えます。その準備から後片付けまで、町内の方々の物心両面でのご支援、ご協力には頭が下がる思いです。夏祭りは町内の安全を祈願し、町内の方々のコミュニケーションを図る大切な行事であり、一つの方向に向かつての町内の方々のエネルギーは大したものです。

夏の少年少女のソフトボール大会、粕壁地区体育祭等における町内の方々の後援、特に青年会の皆様の日夜を問わない活躍により成り立っており、常に上位入賞を目指しております。

盆踊り大会、相撲大会は宮本町と合同で行っており、舞台づくりから片付け迄、和気あいあいとして行われております。



夏祭り

町内会の青少年の活動は町内の皆様方の献身的なご援助、ご指導により成り立っております。

浜川戸町内会に住んで良かったと思われる街づくりを目指し、各部会は町内会館を利用し、それぞれ独自の活動を展開しております。

児童、青少年につきましては補導員を増員させて頂き、多くの皆様方が日常生活の中で彼等を温かく見守るよう心がけております。

これからは従来にも増して、春日部市民憲章を良くかみしめて、これを実行あるものにするべく、町内の皆様と共に歩んでいく心算です。

備後東六丁目地区

地区長

矢部 正男



私達の地区自治会を紹介します。

武里地区内の備後東六丁目地区と称しまして、平成十二年度より備後下地区から五百縄第一自治会と五百縄第二自治会が独立し、一地区二自治会、二六一世帯でスタートさせていた地区です。国道四号正善小入口と備後南に挟まれ西へ東武線に向かい東急住宅との境迄の長方形の区域です。次に主



もちつき大会

な事業活動を順に紹介いたします。

備後下地区内には五地区、六自治会がございまして夏には正善小学校の校庭をお借りし、六自治会合同での納涼祭に参加し模擬店を実施して地区内の皆様に大変喜んでいただいております。そして十月には武里地区の体育祭にも備後下地区の一員として、役員、選手が喜んでご参加をしております。私達の地区は市主催の防災訓練に十二年度より会員皆様のご協力により参加し日頃の心構えとコミュニケーションに力を入れております。十二月になりまして地区内の正善公園をお借りし地区として総力で餅つき大会を行います。また、会員皆様に呼びかけ家庭内の余剰品を寄付していただき大会会場にて抽選会の景品に使用します。会場内で食べられる餅は大根おろし、きなこ、あんこ等無料でお代り自



由、また、やきとり、けんちん汁、ビール等の販売もあり家族連れでにぎわいます。当日は近隣の方々もお招きして私達の日頃の姿を見ていただき役員一同皆様に感謝をしつつ会場内で反省会を行い年の瀬を迎えます。私達の地区には集会場がありません。数年前より会員皆様と会館建設の話も持ち上げますが実行までには至っておりません。現在打合せ、会合等は武里東公民館をお借りしております。会館建設にあたっては、皆様方のご協力のもと、進めていきたいと考えております。地区として発足し日が浅く他地区と肩を並べるにはもう少し時間が必要ですが地区内の連帯感は盛り上がりっております。市及び他の地区、自治会の方針には協力を惜しまず、地区会員皆様との融和と親睦、コミュニケーションを図りながら住みよい地区にして行きたいと思っております。地区発展のため皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

本田中地区

地区長

酒井 秋 男



私たちの住む本田中地区は、東武伊勢崎線一ノ割駅より東へ藤塚橋を渡り百五十メートルから二百メートルに位置しております。当地区は比較的新しい地区で昭和四十年半ばに入居が始まり隣接地区には、本田上地区と本田下地区がありその間にあるので本田中地区を作りました。また、藤塚香取神社や西の境界には古利根川が流れ住環境の整備も整いつつあり住み良い住宅地となっております。

当地区は七つの班に分けてあり、



消防訓練

新旧班長 役員による総会を開き、前年度の反省と新年度の活動方針を決めております。行事は年間を通して班長、役員の積極的な協力により推進しております。主な行事は防災訓練、地区内清掃、古利根川清掃、ふれあいチーム等でございます。防災訓練につきましては自主防災組織が出来る前より訓練を実施しており、ご夫婦で参加してくれる方も多く、市の方々の説明にも真剣に話を聞き訓練も積極的に取り組んでおります。特に消火訓練には、女性の方々に参加していただき消火器の使い方など重点的に実施しております。地区内清掃は藤塚香取神社周辺を含め実施しております。古利根川清掃も何年か前にはつり糸や弁当の食べ残りや空き缶、ペットボトルなどが捨てられておりましたが今は大分なくなりました。ふれあいチームは本田上地区さんとお世話になり一緒に高齢者の皆さんと五月にお茶飲み会、十一月にお食事会を行っております。高齢者の方とお話をしたりフラダンスや踊り、体操、カラオケ等見たり聞いたりしております。帰りに皆様から出席して良かったとの話も多く聞かれ喜んでおります。また、地区の方の家庭菜園で作られた野菜をいただき各班の協力を得て「ミニニケーション」を図るべく芋煮会を開催しました。地区のほとんどの方

が参加し盛大に行われました。元の組長さんが藤塚本田中地区の発足の時、隣近所の方々と一日も早く親しくなってもらいたいとソフトボールクラブを作っていたいただき今も活動しており二十五年位になり、親子で参加してくれる方もいます。ラジオの交通情報などでもおなじみになってしまいました藤塚橋の渋滞に伴い、特に夕方の混雑がひどく当地区内の裏通りまで車が入って来ず。一日も早く渋滞を解消してほしいと市にお願ひして来しました。現在藤塚橋の上流に新しい橋が工事中で平成十六年に完成するとの事で渋滞がなくなれば地区もさらに良くなる事も期待できると思っております。「本田中地区に住んで良かった」を目指し各地域の地区長さん、自治会長さんらと語らい相談し合い、住み良い地区にしていきたいと思ひます。

備後須賀第一自治会

会長

黒羽 達也



我が第一自治会は、南に武里駅また、会之堀川を臨み武里地区のほぼ中央に位置し、自治会の中心



地区体育祭で優勝

には備後小学校があります。

また、近隣には800年の歴史を誇る備後須賀稻荷神社があります。この地区は、以前は備後須賀地区という名称でしたが平成九年に分割化され五町会に別れ、備後須賀第一自治会になって六年目のまだ新しい自治会です。

武里は東京への通勤、通学の便も良いということと近年はマンション等が多数建築され若い年代層も増え世帯数も四百世帯を超えるに至っております。

第一自治会の年間行事をご紹介します。春の行事は「春のクリンデー」があり役員、班長さんをはじめ多数の会員さんが参加して行います。

夏の行事は、五町会連合の大運動会があり、それぞれの町会が競い合います。武里地区の体育祭では五町会連合で挑み、昨年は優勝という素晴らしい成績を収めることができました。

防災訓練におきましては、初めての炊き出し訓練を行ったところ手際よく行うことができ、また救急指導を受け、いざという時に素早く行動が取れるよう訓練することができました。

秋の行事は、一年おきの親睦旅行があり普段なかなかふれ合うことができない会員同士の交流の場となっております。

冬の行事は、昨年初めての試みと致しまして第二町会さんとの連合での「餅つき大会」を開催いたしました。前日からの準備など会員の皆様のご協力の下、盛大に執り行うことができました。今回の連合餅つき大会は、他の自治会さんとのコミュニケーションをとる場となりこれからも連合での行事を考えて行きたいと思ひます。

また、備後須賀稻荷神社では毎年三月の第一日曜日に初午大祭が行われます。子供御輿では、町会の子供たちが大勢参加し街中練り歩き、大人御輿にも参加する人が年々増えてきました。演芸大会やカラオケ大会など須賀地区全体のコミュニケーションの場となっております。

今後の課題と致しましては、安全で清潔な住み良い街づくりを目標に皆様方のご協力の下に活動し第一自治会に住んで良かったと思われるよう日々努力する所存であります。

増富地区

地区長 石塚慶雄



私が住む増富地区は現在約九百世帯あります。私自身子供の頃は分家を含めて三十一軒でした。その頃は自宅近くから東武浅草行の電車が見えた時もありました。その頃は、テレビもなく芝居小屋、素人演芸が楽しみでした。昭和四十二年には国道十六号バイパス岩槻春日部間が開通し徐々に都市化が進み現在は、春日部駅西口より増富地区迄住宅地になりました。私達が青年会の頃は、まだ空地があり、花火を上げたり、盆踊り、カラオケ大会等も開催し子供達を中心にした夏祭りも出来ました。



もちつき

現在は会場等の問題もあり実施出来ません。また、地区内には築約百六十年の香取神社があり、享保十二年(一七二七年)、今から二百七十五年前に造られた安産、子育て地蔵尊、まっくる地蔵が祀られております。昔、災いが数多く発生し子供が育たない時期があったそうです。これを見かねた法印裕学というかなり位の高いお坊様が、このお地蔵を背負って現在の場所に祀ったところ災いがなくなつたとの言い伝えがあります。毎年十一月二十三日が祭礼の日に当たり、この日は青年会が餅をつき、お参りに来た方に団子とお札を配り、また、地蔵様に掛けてあるタスキを、男の子が欲しい人は白か青のタスキ、女の子が欲しい人は赤いタスキを借り腹帯と一緒に巻き、無事にお産がすむと新しいタスキをお地蔵様にお返しをして子供が健康に育ちますよう祈願致します。このように昔から続けられている祭りは今後も若い世代へと引き継いでいければと心に念じております。地区運営につきましては、地区長一名、副地区長一名、会計二名、監事一名及び地区を五ブロックに分け、各ブロックより二名のブロック長を選出し全体で十五名他に民生児童委員四名の協力を頂き地区運営に当たっています。年間の活動としては、春と秋のクリーンデー、防災訓練への参加

八月と十二月の防犯パトロールの実施、ふれあい、いきいきサロンなどの事業・行事を実施しております。ふれあい、いきいきサロンにつきましては、増富いきいきサロンを組織し、昨年十月二十日に三十一名のお年寄り招いて、第一回の増富いきいきサロンを開催し、皆様に大変喜ばれ、また、次もお願致しますとの声もあり今年も開催する予定であります。今後の地区運営につきましても、地区住民の皆様の意見を聞き増富地区に居住して良かったと言われるよう努力をしていきたいと考えております。今後とも皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

一ノ割町会の紹介

地区長 増田喜一



一ノ割町会は、本田第一、第二、第三、根耕地、新田大沼の五地区により構成されております。会長はこの地区の地区長の中より選出し、現在は根耕地地区の大熊文男氏となっております。役員は地区

長を含めて組長が十七名で組織されており、組長は奇数月の最後の日曜日に会費納入と組長会議を行っています。四月には総会があり、次の通年行事が決まります。一、五月にクリーンデー、クリーン推進委員会を中心に全員で二時間こみ拾いを行います。二、春秋の交通安全週間に参加、警察よりの指導で行われます。三、防犯推進委員が夏冬二回、夜の巡回に協力。四、防災訓練は市よりの連絡に協力。十四年度は備後小で行われ、六十名程度参加しました。五、町会夏祭りは、毎年七月の最後の土・日曜日に行われる事に以前より決まっております。夏祭りの実行委員会を作り各部門によって種々の行事が案として提出されます。この行事が決定すると各役員が分かれ、経理部は受付と事務的な処理、御輿部は御輿の組立準備、かつぎ手は各組より募集します。婦人部は盆踊り練習日の決定、接待係を担当します。また、御輿と一緒に流し踊り、子供会を中心としたイベント等が行われます。このように次々と役員の仕事が行われて行き、一番大切なヤグラ作りは二週間前に役員全員

で行い、すばらしいヤグラが作られます。こうして待ちに待った夏祭りが盛大に行われて無事に終わります。六、体育祭、十月第一日曜日に決定。組長の所より一名体育委員を選出。体育委員と組長で運動会体育委員となり、選手選考する。選手が決定すると九月の日曜日を利用して全体練習を二回行う。これが終わると選手壮行会が行われ、一同頑張ってもらうように激励し大会に望みます。これ以外に細かい行事もありますが毎年行われる行事は報告通りです。一ノ割町会行事の前には必ずその委員会を作り行事がスムーズに行くように意見の交換がなされ、目的の行事に進みます。五地区もある大きい地区がこうして一団となって街を盛り上げる姿は自慢の一つだと思ひ、今後も頑張りたいと思ひます。



夏祭り

内牧地区の紹介

私達の内牧地区は市の北部に位置し、緑豊かな落ち着いた地区です。

鉄道は北春日部駅を多く利用しております。

また、道路は主要県道春日部 菖蒲線が地区の中央部を南北に通る、交通量も多いところです。

地区的には緑の内牧と云われるとおりですが、まだ開発が進んでいない為かもしれません。私達は教育環境の最も好い処と思っております。地区の中央に小学校・公民館があり、北に進むと市内唯一の大学である共栄大学があります。これをもっと進むと、国民年金総合健康センター(春日部エミナース)があり、これを西に進むと県立の特別養護老人ホーム・彩光苑が見えてきます。時節がら研修・ボランティアの出入りが多いそうです。

また、その南側には内牧公園があり、小学生・幼稚園児の家族づれなどでにぎわっております。

内牧サイクリング道路は、一周4Kとつづいているため、自転車・マラソン・歩け歩けの人達で賑わっています。また、塚内古墳群も見ることが出来ます。

内牧地区は他の地区とちがひ、小字の地区でなく、小字をいくつか合わせて区制にしてあるため、一区より四区までとしています。その他栄町梅田と、合計で十一地区あります。いずれの地区も、住民の協力で明るく楽しく運営されているところです。

内牧地区自治会連合会 会長 齋藤 茂

《内牧地区自治会連合会》(11自治会等)

内 牧 一 区 自 治 会	新 井 堂 尤
内牧二区自治会連合会	齋 藤 茂
内 牧 三 区	関 根 治
内 牧 四 区 地 区	松 本 清 二
グリーンパーク春日部自治会	弓 矢 薫
梅 田 一 区 地 区	清 水 盛 也
梅 田 二 区 自 治 会	蒲 生 不 二 男
梅 田 本 地 区	濱 島 秀 幸
栄 町 一 丁 目 町 会	渡 辺 輝 夫
栄 町 二 丁 目 町 会	板 倉 肇
栄 町 三 丁 目 町 会	今 井 和

役員視察 研修会報告

去る平成十四年十一月二十一日、新潟県新潟市の「大形本町第一自治会」を視察研修いたしました。同自治会は家庭の生ごみを堆肥にして再利用する活動を展開しております。

この活動は、住民が共同で生ごみを堆肥化し、有機農業や家庭菜園に再利用するもので、市のモデル事業にも指定され、自治会内の55世帯が協力して進められている



役員研修会

ものです。家庭から出た生ごみは地区に設置された生ごみ処理機に入れられ、発酵を経て堆肥化されます。月2、3回、処理機から取り出し近隣農家をはじめ、地区の各家庭や小学校に配布している。この堆肥を使用する農家の野菜を地区内で直売する計画も進んでいるとのこと。ごみの減量化と安全な食物づくりにつながり、循環型



生ごみ処理機

社会のモデルともなる生ごみのリサイクル活動「息の長い活動にするために、課題もあるががんばって行きたい」と会長さんをはじめ、地区の方々は意気込んでいました。

編集後記

少子・高齢化が進む中で、だれもが安心して暮らせる地域社会を築けるよう、自治会運営に取り組んで行きたいと思えます。皆様のご協力をよろしく願いたします。

編集委員氏名

- 会長 時 田 美野吉
- 副会長 上 野 照 信
- 副会長 山 口 益 雄
- 副会長 上 原 孝
- 副会長 齋 藤 光 茂
- 副会長 板 橋 光 二

発行日 平成十五年三月一日
 発行者 春日部市自治会連合会
 事務局 春日部市役所自治振興課内
 ○四八七三六〇一一一